

まなぶと はたらくを つなぐこと

～大学におけるキャリア教育の

今とこれから～

実践女子大学 文学部国文学科
教授・学長補佐
(キャリア教育担当)
深澤晶久

<お断り>

6月30日にお伝えする内容の一部を抜粋いたしました。
当日は、詳細を含めてお伝えする予定です。

- 今回は、「全国キャリア教育・就職ガイダンス」という誠に貴重な機会をいただき心から御礼申し上げます。
- 新型コロナウイルス感染症が一瞬にして社会を変えてしまうという事態は、少なくとも昨年の2月頃までは、誰も想定していなかったことであると思います。
- 社会も大きく変わりました。大学教育も大きく変わりました。そうした中、私が担当しているキャリア教育の世界での変化とこれからの目指すべき方向などについて、日頃から考えていること、そして実際の事例を中心に伝えたいと思います。
- 約40分程度お話しをさせていただき、最後に質疑応答のお時間をお取りできればと考えております。よろしくお願いいたします。

実践女子大学について

・1899年創立(創立122年目)

*東京都(日野市・渋谷区)

・キャンパス

日野キャンパス(約1,900名)

-生活科学部

渋谷キャンパス (約2,800名)

-文学部・人間社会学部・短期大学部

・学生数

大学:4,307名(短大:441名)



自己紹介



深澤 晶久 (ふかざわ あきひさ)

1957年(昭和32年)7月21日生 63歳

星座 かに座 血液型 A型

Year	Incident
1980年(昭和55年)	慶應義塾大学 法学部法律学科卒業
1980年(昭和55年)	株式会社 資生堂入社
	営業、マーケティング、新規事業開発、労働組合、人事(採用・人材開発)等を経験
2014年(平成26年)	実践女子大学 大学教育研究センター 特任教授
2018年(平成30年)	実践女子大学 文学部国文学科 教授(全学キャリア教育担当)
2020年(令和2年)	実践女子大学 学長補佐(社会連携担当)

目次

1. キャリア教育を取り巻く背景
2. 今、行っていること
3. 今後、大学として教職協働で目指す方向
4. 質疑応答

1. キャリア教育を取り巻く環境

～なぜ、キャリア教育が必要なのか？～

2. 今、行っていること

～実践女子大学におけるキャリア教育について～

社会を変革し未来を切り開いていく女性の育成を目指す

ディプロマ・ポリシー

- 多種多様に変化する社会を生き抜くための力が求められています。実践女子大学・実践女子大学短期大学部では各学部・学科での専門的な知識やスキルはもとより、そのような社会を生き抜き、輝き続けるために必要な力として2つの態度、3つの能力を定め、これらをバランス良く身につけることをディプロマ・ポリシーとして保証しています。
- 2つの態度

国際的視野	多様性と多角的視点で世界に臨む態度
美の探究	知を求め、心の美を育む態度
- 3つの能力

協働力	相互を活かして自らの役割を果たす力
行動力	課題解決のために主体的に行動する力
研鑽力	学修を通して自己成長する力

キャリア教育を通して目指す力

- 2020年は大きな時代の変化となった。社会・経済などあらゆる分野において、まさに「ニューノーマル元年」となる。
- これからの時代を生き抜き、さらに言えば牽引する人材として求められることを想定し、キャリア教育も変化させるとともに、専門科目とのリンケージも図りつつ、次のような人材育成を目指す。
- 5つの要素

●人を元気づけられ	Empowerment
●しなやかさを兼ね備え	Withy
●人間らしく感情豊かに	highly Emotional
●リーダーシップを持ち	Leadership
●人への思いやりを忘れない	Sensitivity

「JEWELS」社会で宝石のように輝く実践女子たち

JISSEN PRIDEを持ち、魅力ある卒業生で埋め尽くされる学園に向けて

就職活動のテクニックを学ぶ授業ではありません。
キャリアの理論を学ぶ授業ではありません。



「生き方」「人間力」「今、社会で必要としている本質を身につける」
ための時間です。

学生の主体性を引き出す授業に ついて

実践プロジェクトa

■ 今、社会で求められる力とは

時代によっても変化し、企業のおかれる状況でも変化し続けるが、普遍であると考えているのが、

- 1.主体性
 - 2.人を巻き込む思考力
- と考えています。

■ FSP研究会によって生み出された「主体性講座」

- 2010年7月に設立されたFSP研究会では、5大学6企業のメンバーが集い、大学が社会で求められる人材を輩出するために、大学と企業は何か出来るかを議論している。
- その議論から導き出されたのが「主体性」であり、具体的な授業が、初年次対象の科目「主体性講座」である。



2020年度からスタートした「実践プロジェクトα」をご紹介します。

FSP(フューチャースキルズプロジェクト)研究会

12



社会で活躍する人材輩出のために
「産」「学」がやるべきこととは何か
一般社団法人Future Skills Project研究会設立と会員募集のお知らせ

Future Skills Project 研究会とは…

「社会で活躍できる人材をどのように育成すべきか」をテーマに、2010年7月からスタート。企業人と大学人が問題を共有し、主体性と応用力をもった学生を育てるカリキュラムを具体的に提示。研究と実践を通じて「産」「学」に共通の課題を議論することを目的にしています。2014年4月には「一般社団法人Future Skills Project研究会」と組織を改め、活動を拡大しています。

協賛企業：SUNTORY | J/HL/EIDO | ORACLE | NOMURA | Benesse

協賛大学：東京理科大学 | 明治大学 | 立教大学

「社会で活躍できる人材をどのように育成すべきか」をテーマに、2010年7月からスタート。企業人と大学人が問題を共有し、主体性と応用力をもった学生を育てるカリキュラムを具体的に提示。研究と実践を通じて「産」「学」に共通の課題を議論することを目的にしています。2014年4月には「一般社団法人Future Skills Project研究会」と組織を改め、活動を拡大しています。

理事会メンバー

東京理科大学、明治大学、東海大学、立命館大学、実践女子大学、アクサパートナーズマレーシア、オリエンタルランド、サントリーホールディングス、資生堂ジャパン、日本オラクル、ベネッセi-キャリア、野村証券

<http://www.benesse.co.jp/univ/fsp/about/>

参画いただいた企業は120社、授業として実施された大学は30大学を超えました。

2021/6/7

2020年度 FSP講座実施計画(実践女子大学)



■ シラバスで決定した日程をご入力下さい

日程	企業参加	内容
5/15		マインドセット・ルール説明
5/22		課題とは？ディスカッション練習
5/29	★	企業から課題提示
6/5		チーム活動
6/12		チーム活動
6/19	★	企業への一次提案
6/26		チーム活動
7/3		チーム活動
7/10	★	企業への最終提案に向けた質問日
7/17		チーム活動
7/24	★	企業への最終提案・評価
7/31		全体の振り返り・今後の学び検討・総括

企業①

■ 運営ヒアリング (5月時点の状況です。)

講座名称：実践プロジェクトa
 曜日と時間：毎週金曜日 10:45 ~ 12:15
 使用予定教室：メディア授業
 実施学部・学科：共通教育科目(文学部・人間社会学部)
 学年：1年生
 クラス数：1クラス
 クラス人数：13
 グループ数：3
 正課の有無：正課科目(キャリアコア科目)
 必修or選抜：選抜
 テキスト販売形式：学生が購入
 担当講師名：深澤晶久
 前半企業名：近畿日本ツーリスト様

補足・連絡事項
 ※前期は最終日までメディア授業です。
 授業では、基本的にZoomを使用します。

MISSION

あなたは近畿日本ツーリスト首都圏の社員です。

市場を分析し、【地域】が抱える課題に対して
 地域内外のどの【パートナー企業・団体】と連携し
 【近畿日本ツーリスト】がどのような【ワーケーション】の
 モニターツアーや現地プログラム(子供向け含む)を企画し
 どのような【顧客】企業・社員の家族(子供)に提案する
 ことで【社会】がどう良くなっていくのかを提案せよ。

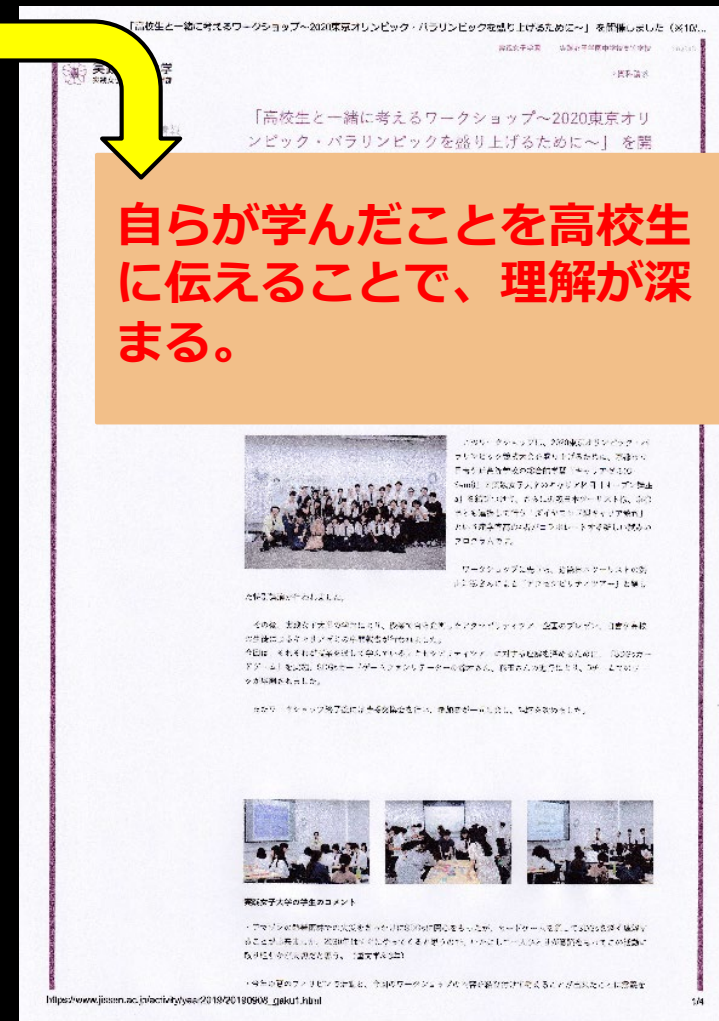
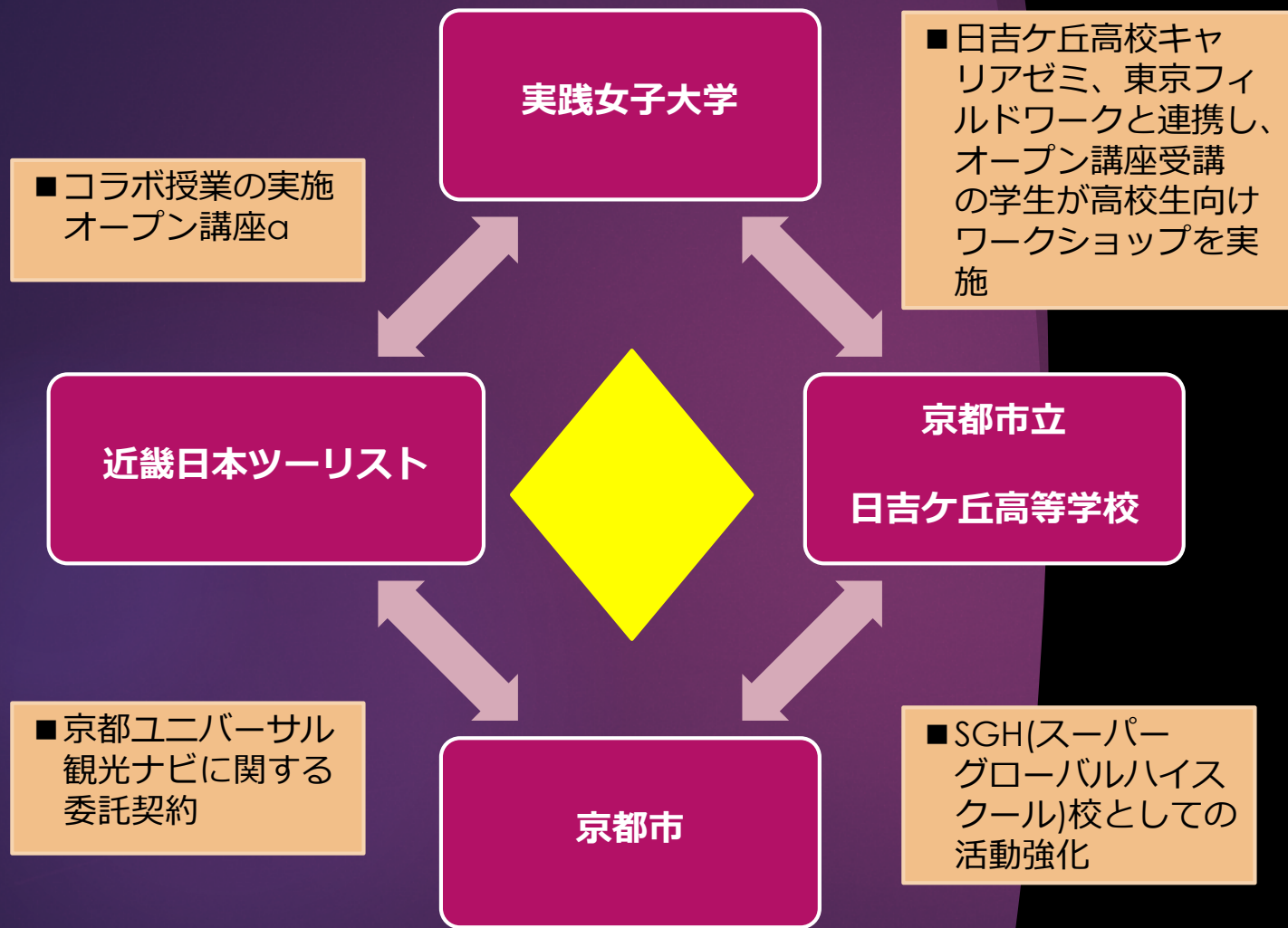
提案の前提

- ・近畿日本ツーリストが提供する「旅ソリューション」を活用した提案であること
- ・規模として年間売上高が500万円以上の売上見込みであること
- ・売上総利益30%以上であること

Copyright ©2019 Future Skills Project. All rights reserved. 無断転載を禁じます。

「主体性」と「大学での学び方を学ぶ」企業連携PBL型授業(1年生精鋭13名が挑戦!)

ダイヤモンド型キャリア教育



実践女子大学と京都市は、2019年5月に「事業連携協定」に締結
近畿日本ツーリスト様と日吉ヶ丘高校とは、修学旅行のパートナーに

2019.10.24実践女子大学Webサイトより

3. 今後、大学として 教職協働で目指す方向

J-TAS (Jissen Total Advanced Support) とは

16

エンロールメント・マネジメントとしての学生支援改革を目指す

■学園理事長が掲げた目標:

「大学が本当に自分を大切にしてくれると
学生に実感してもらえる大学作り」

■学長方針:学生第一

「入学前から卒業後まで、学生一人ひとりの個性を
大切にしたい個別支援体制の構築」

中規模大学だからこそ出来る差別化戦略&ブランディング戦略の一つでもあります。

J-TAS（ジェイタス）の全体像について

17

入学前から卒業後まで、学生一人一人の個性を大切にした個別支援体制の構築

J-TASの全体像

入学支援

修学支援・生活支援

キャリア(PBL)支援

就職支援

卒業生の
両立支援

事務組織改革(ワンストップサービス)

J-STAFFによる受験生・在学生支援

卒業生による在学生支援

「システム導入」と「戦略的EMIR」

入学前

教育研究・学生生活

卒業後